

英語科学習指導案

日	時：平成26年1月31日（金）第5校時（13時15分～14時05分）
学	年：本校 中学部 1年
授業場所	：本校 中学部1組教室

1. 単元（題材）名

Speaking Plus 3 「ちょっとお願い」

2. 単元（題材）設定の理由

（1）生徒について

本学年は、明るく真面目で、活動に前向きに取り組む生徒が多い。理由を述べながら自分の考えを發表することができる生徒もおり、クラス全体で考えを共有できる雰囲気がある。特に、英語の音声に対して慣れ親しんでいる様子である。リスニングや発音などの活動においては、意欲的に取り組んでいる。また、個人学習だけでなく、Q&Aシートを用いた1問1答練習やコミュニケーション活動に対しても意欲的に取り組むことができ、質問されている内容に対して適切な返答ができています。ALTとの1対1のインタビューテストにおいても、日ごろの練習成果を十分発揮し、緊張しながらも相手の目を見ることに気をつけながら自然な形で取り組んでいた。

しかし、日常生活の不安や集団学習からくるストレスから情緒不安定になり、がんばりたい気持ちがあっても本来の力を発揮できなかつたり、授業に参加できなかつたりする場合もある。また、高い学力を身に付けている生徒がいる一方で、学習空白や未学習による遅れが見える生徒もいるなど、個々によって学習の習得状況は異なっている。

（2）教材について

本題材は、家の中での親子が、窓をあけてもよいか相手に許可を求めたり、宿題を手伝ってくれるよう頼んだり、ドアをあけてくれるよう依頼したりするという場面設定になっている。言語材料としては、相手に対して許可を求める「Can I ~?」、依頼をする「Can you ~?」である。許可を求めたり、依頼したりすることは、日常生活で頻繁に行われることであり、生活する上で不可欠なことである。本題材の学習では、まず実生活の中で身近な人に対して許可を求めたり依頼をしたりする場面を把握し、そして自分の気持ちなどを聞き手に正しく伝えたり、それを聞いて適切に応じたりすることができるようにしたい。実践的なロールプレイングを行うことで、生徒の表現の幅を広げ、コミュニケーションに対する意欲・関心を高めることができると考える。

（3）指導について

本題材の指導にあたっては、「話す」活動に重点をおき、実際の場面を想定して気楽な対話ができるようにしたい。本学級の中には、場面を把握することが難しく、その場面に応じた対応ができなかつたり、人との関わり方が分からなかつたりして、困りやストレスを感じている生徒もいる。授業の中でも特に「コミュニケーション活動」に対して苦手意識を感じている。そこで、導入の部分で、日ごろから取り組んでいるインタビュー活動を取り入れたり、ゲーム的活動も取り入れるなど、楽しい雰囲気を取り入れながら「話すこと」に対する抵抗を少なくし、より自然な形で活動させたい。また、想定される場面をた

くさん例示し、普段の生活の中でどのようなときに使われる表現なのかをしっかりと把握させたい。

3. 単元（題材）の目標

- (1) 家族や友達などに、許可を求めたり依頼したりすることができる。
- (2) 家族や友達などの依頼に応じたり、断ったりすることができる。

4. 単元の指導計画 指導計画（全3時間）

第1時 許可を求めたり依頼したりする場面を理解し、英語で表現する。

（本時）

第2時 教科書の内容を理解し、モデル対話をもとにオリジナルのスキットを考える。

第3時 作成したスキットを発表し、お互いに評価する。

5. 本時の目標

許可を求めたり依頼したりする場面を理解し、英語で表現する。

6. 本時の展開

	学習内容	学習活動	生徒支援内容・留意点
導入	1. あいさつ 2. song 3. ウォームアップ “カードビンゴ”	<ul style="list-style-type: none"> ・「Just the way you are」を聞き、()内にあてはまる単語を聞き取る。 ・疑問詞を含む英文カードでビンゴをし、適切な応答の仕方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聞くことで英語の雰囲気作りを行う。 ・音と文字がつながりにくい生徒もいるため、その都度カードは実物投影機でテレビに映す。
展開 ①	4. 場面把握 5. パターンプラクティス	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル対話をもとに、許可を求める・依頼する場面であることを把握し、そこで使われている表現に注目する。 ・例文を参考に、声に出して練習する。 ・ワークシートを使って教室の中で使える表現を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit10で学習した「can(～できる)」とは、表現が少し異なっている点に気づかせる。 ・プレゼンテーションを活用し、場面を把握しやすい情報を提示して、発言しやすい雰囲気づくりを行う。 ・Can I ～?とCan you ～?が混同しないように気をつける。 ・適切な返答の仕方もできるようにする。
展開 ②	6. ペア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友だちの答えを予想し、お互いに聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文は提示しておく。 ・英語を読むことが難しい生徒に関しては、個別指導や助言などの支援を行う。 ・今後授業の中で積極的に使っていけるような言葉かけをする。
まとめ	7. 本時の学習の整理 8. あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱った例文をふりかえり、学習内容をまとめる。 	

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- ・許可を求めたり依頼したりする場面を理解し、英語で表現する。
- ・個人の目標についても評価する。